

用語解説

■アルファベット・数字

- AI (Artificial Intelligence) [P5,P33,P68,P78,P85,P87,P89,P93,P124]
人工知能のこと。学習、推論、判断といった人間の知能の持つ機能を備えたコンピュータシステム。
- AI-OCR (Artificial intelligence-Optical Character Reader (又は Recognition) [P90]
従来の OCR とは異なり、AI 機能（機械学習・ディープラーニング）を活用することで、より高精度な文字認識を可能とする仕組みやサービス。
- API (Application Programming Interface) [P90]
ソフトウェアやアプリケーションなどが、自ら持つ機能の一部を他のシステムから利用できるように、機能の呼び出しやデータの受け渡しなどの手順を定め提供するもの。
- BCP (Business Continuity Plan) [P70,P85]
企業が自然災害などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のこと。
- BOD (Biochemical Oxygen Demand) [P42]
水中の有機物が微生物の働きによって分解されるときに消費される酸素の量のこと。河川の有機汚濁を測る代表的な指標。環境基準では、河川の利用目的に応じて類型別に定められている。
- COD (Chemical Oxygen Demand) [P42]
水中の有機物を酸化剤で分解するときに消費される酸化剤の量を酸素量に変換したもので、海域や湖沼の有機汚濁を測る代表的な指標。環境基準では、海域や湖沼の利用目的に応じて類型別に定められている。
- DMO (Destination Management Organization) [P95]
様々な地域資源を組み合わせた観光地の一体的なブランドづくり、ウェブ・SNS 等を活用した情報発信・プロモーション、効果的なマーケティング、戦略策定等について地域が主体となって行う観光地域づくりの推進組織。
- Ds-Labo [P89,P94]
ドローン産業や電磁応用産業の推進を目的に、大分県産業科学技術センターに設置された研究開発施設の名称。世界最大級の磁気シールドルームや、電磁波試験を実施する電波暗室、共同開発を行うためのリサーチルーム、ドローン飛行試験用テストフィールドから構成される。
- EPA (Economic Partnership Agreement) [P79]
経済連携協定のこと。貿易の自由化に加え、投資、人の移動、知的財産の保護や競争政策におけるルールづくり、様々な分野での協力の要素等を含む、幅広い経済関係の強化を目的とする協定。
- ESD (Education for Sustainable Development) [P124]
気候変動、生物多様性の喪失、資源の枯渇、貧困の拡大等、人類の開発活動に起因する現代社会における様々な問題を、各人が自らの問題として主体的に捉え、身近なところから取り組むことで、それらの問題の解決につながる新たな価値観や行動等の変容をもたらし、もって持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習・教育活動のこと。

- **GAP (Good Agricultural Practice) [P54,P79,P112]**
農業における、食品安全、環境保全、農作業安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取り組み。
- **HACCP (Hazard Analysis Critical Control Point) [P53,P79,P94]**
食品取扱事業者自らが食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因（ハザード）を把握した上で、原材料の入荷から製品の出荷に至る全工程の中で、それらの危害要因を除去又は低減させるために特に重要な工程を管理し、製品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法。
- **ICT (Information & Communications Technology) [P20,P32,P33,P36,P58,P66,P77,P84,P86,P88,P89,P123,P127,P130,P136,158]**
情報や通信に関連する科学技術の総称。
- **IoT (Internet of Things) [P5,P64,P68,P85,P87,P89,P93,P150]**
世の中の様々なモノをインターネットに接続しネットワーク化する、「モノのインターネット」と呼ばれる仕組み。あらゆるモノがインターネットにつながり、情報のやり取りをすることで、モノのデータ化やそれに基づく自動化等が進展し、新たな付加価値が生み出される。
- **IPM (Integrated Pest Management) [P54]**
病害虫の発生予察情報等に基づき、経済性を考慮しつつ、利用可能なすべての防除技術を組み合わせた防除を実施することにより、病害虫の発生・増加を抑える取り組みを総合的に講じること。総合的病害虫・雑草管理と訳される。
- **LCC (Low Cost Carrier) [P149]**
格安航空会社のこと。従来行われていたサービスの簡素化や運行費用の徹底削減などを行い、低価格の運賃で就航している。
- **MERS (Middle East Respiratory Syndrome) [P71]**
中東呼吸器症候群のこと。ウイルス性の感染症。原因ウイルスは MERS コロナウイルスと呼ばれ、主な症状は、発熱、せき、息切れなど。下痢などの消化器症状を伴う場合もある。
- **MICE (Meeting Incentive Convention Exhibition) [P96,P100]**
企業などの会議 (Meeting)、企業などの行う報奨・研修旅行 (インセンティブ旅行 :Incentive Travel)、国際機関・団体、学会などが行う国際会議 (Convention)、イベント、展示会・見本市 (Event、Exhibition) の頭文字のこと。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。
- **NP (Nurse Practitioner) [P131]**
医師の包括的指示のもと、脱水時の点滴や採糸など厚生労働大臣が定める 38 の特定行為すべてについての診療の補助を、患者・療養者に対して、自律的に実施できる看護師。
- **NPO (Non Profit Organization) [P19,P40,P42,P46,P58,P61,P64,P106,P140]**
民間の非営利団体のこと。ボランティア団体や市民活動団体のほとんどが NPO ということになる。「NPO」と「NPO 法人」の違いは、数多くの「NPO」の中で、特定非営利活動促進法に基づき県知事などからの設立の認証を受けたものが「NPO 法人」であり、法人設立の手続きや運営を同法に基づいて行っている。
- **PDCA サイクル [P27,P78]**
効果的な管理や確実な改善に向けて行う、計画立案 (Plan) →実践 (Do) →検証 (Check) →改善 (Action) の段階的な活動の循環のこと。
- **PM2.5 [P41]**
微小粒子状物質のこと。浮遊粉じんのうち、粒径 2.5 μ m (1 μ m=0.001mm) 以下のものをいい、人為起源のもの、自然由来のもの、大気中で二次的に発生するものがある。人為起源のものには、工場や自動車の排出ガス中に含まれるばいじん等、自然由来のものには、黄砂等の土壌粒子や海塩粒子、火山の噴煙等に含まれるものがある。また、大気中で、ガス成分 (揮発性有機化合物、窒素酸化物等) から光化学反応等により二次的に生成されるものもある。健康影響としては、喘息や気管支炎などの呼吸器系疾患や肺がんのリスク上昇、循環器系への影響が懸念されている。
- **QOL (Quality of Life) [P73]**
ひとりひとりの人生の内容の質や社会的にみた生活の質のことを指し、ある人がどれだけ人間らしい生活や自分らしい生活を送り、人生に幸福を見出しているか、ということ尺度として捉える概念。
- **RORO 船 [P79,P91,P149]**
ロールオン・ロールオフ船の略。船体と岸壁を結ぶ出入路を備え、貨物を積んだトラックが、そのまま船内外へ自走できる貨物専用船。
- **RPA (Robotic Process Automation) [P89]**
これまで人間が行ってきた定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化するもの。
- **SDGs (Sustainable Development Goals) [P5,P39,P161]**
平成 27 年 (2015 年)9 月の国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」の中核をなす SDGs (持続可能な開発目標 :Sustainable Development Goals) は、持続可能な世界を実現するための 17 のゴールと 169 のターゲットで構成される国際目標であり、経済・社会・環境をめぐる広範囲な課題を不可分なものとして統合的に解決することを目指す。
- **SGS (Soft Grain Silage) [P77]**
粗米を乾燥させず、そのまま発酵させた飼料のこと。乾燥作業が省力でき、低コスト化が期待できる。
- **SNS (Social Networking Service) [P26,P46,P74,P79,P96,P101,P128,P146]**
登録された利用者同士がインターネット上でメールや掲示板等様々な機能を使って交流できる会員制サービスのこと。
- **STEAM 化 [P123]**
STEAM 教育 (Science、Technology、Engineering、Art、Mathematics 等の各教科での学習を、実社会での問題発見やその解決に生かしていくための教科横断的な教育) を学校教育や社会教育における教育活動に取り入れていくこと。
- **「The・おおいた」ブランド [P79]**
本県を代表するかぼす、おおいた和牛、乾しいたけ、関あじ、関さばなどの農林水産物と本県特有の自然環境や景観、歴史、文化等を組み合わせ、様々な付加価値を高めることによって「おおいた」を総合的にイメージさせる地域ブランドのこと。

○TPP (Trans-Pacific Partnership) [P79]

環太平洋パートナーシップ協定のこと。アジア太平洋地域の12カ国（オーストラリア、ブルネイ、カナダ、チリ、日本、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、シンガポール、米国、ベトナム）において、モノの関税だけでなく、サービス、投資の自由化を進め、さらには知的財産、電子商取引、国有企業の規律、環境など、幅広い分野で21世紀型のルールを構築する経済連携協定。2015年10月に大筋合意、2016年2月に署名に至った。その後、米国の離脱を受けて、2017年11月に米国以外の11か国で大筋合意に至り、2018年3月にTPP11協定が署名され、2018年12月30日に発効した。

○UIJターン [P73,P82,P92,P103,P112]

もともと都市部に居住していた人が地方部に定住することをIターン、地方部に居住していた人で、就職などにより都市部に定住した人が、別の地方部に定住することをJターン、元の地方部に戻って定住することをUターンという。

○VR (Virtual Reality) [P70]

人間の感覚器官に働きかけ、現実ではないが実質的に現実のように感じられる環境を人工的に作り出す技術。

○WEB (World Wide Web) [P26,P101]

インターネット上で標準的に用いられている、文書の公開・閲覧システム。文字や画像、動画などを一体化した文書をネット上で公開・配布したり、それを閲覧することができるシステムのこと。

○5G [P89]

「第5世代移動通信システム」のこと。5GのGとはGeneration（世代）の略であり、4Gを発展させた「超高速」だけでなく、「多数接続」、「超低遅延」といった新たな機能を持つ次世代の移動通信システム。

○6次産業化 [P80,P111,P115,P120]

農林水産業者が生産物を自ら加工・販売することにより、新たな付加価値を生み出す取り組みのこと。農林水産物の生産（第一次産業）、加工（第二次産業）及び流通・販売（第三次産業）を一貫して行うことから6次産業化と称される。

○8050問題 [P59]

長期化したひきこもり等により、主に80歳代の親が50歳代の子どもの生活を支えるという社会問題。

■あ行

○アートツーリズム [P120]

芸術作品の鑑賞を目的とした観光のこと。

○アートプロジェクト [P131,P138,P140]

美術館展示室での作品陳列（展覧会等）とは異なり、主に美術館等拠点施設の外で展開されるアート活動をいう。アーティスト個人が実施する小規模な取り組みや、行政が関与する大規模なイベントなど、内容や目的は多様である。「越後妻有アートトリエンナーレ」や「瀬戸内国際芸術祭」の成功により、注目されている。

○アートマネジメントプログラム [P132]

美術、音楽、演劇など幅広いジャンルの芸術家と観客とを橋渡しするスキルを持った人材（ホールマネージャー、音楽・美術等プロデューサー、文化施設等の専門スタッフ等）の育成を目指す、大分県立芸術文化短期大学の全学科横断型のカリキュラム。

○愛育班 [P20,P30]

健康で住みよいまちづくりを目指し、各家庭への声かけ訪問、近隣の妊産婦や乳幼児の見守りなどを行う住民組織。

○愛知目標 [P40]

2010年（平成22年）に愛知県で開催された生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）において採択された、2020年までを目標とする20項目からなる生物多様性保全を図るための個別目標のこと。

○赤潮 [P78,P82,P113]

プランクトンが異常増殖し、海や川、湖沼が変色する現象のこと。溶存酸素濃度の低下やプランクトンの毒素等によって魚介類が斃死するなど、水産業に大きな被害を与えることがある。

○アグリ就労アドバイザー [P38]

農業に取り組む就労継続支援B型事業所に対し、栽培技術や販路拡大などの支援を行い、農福連携の推進を図るアドバイザー。

○アセットマネジメント [P65]

施設の計画的な維持・管理により、適切な時期に施設の補修・更新を行い、生涯コストの縮減を図る取り組み。

○阿蘇くじゅう国立公園満喫プロジェクト [P39]

国が2020年の訪日外国人旅行者数を4,000万人とすることを目指して取りまとめた「明日の日本を支える観光ビジョン」に基づく10の施策のひとつ。国立公園を世界に通用する「ナショナルパーク」としてブランド化を図ることがねらい。全国で8つのモデル地域のうちの1つに選定され、ステップアッププログラムを策定して、取り組みを計画的、集中的に実施している。

○「あったかハート1・2・3」運動 [P128]

不登校の早期発見・早期対応のため、以下の取り組みを行うもの。
 欠席1日目＝電話連絡（励まし電話、安心電話、受診確認）
 欠席2日目＝電話か家庭訪問（安心電話、症状の具体把握）
 欠席3日目＝家庭訪問（組織対応、体調確認、再登校不安解消）
 欠席4日以上＝チーム支援（担任、養護教諭、関係教員、SC、関係機関連携）

○アバター [P6,P90,P114]

ロボティクス、センサー、低遅延の通信、実際に物の感触を疑似的に伝える技術等の先端技術を複合的に用いて、離れた場所のロボットを遠隔操作し、あたかもそこに存在しているかのようにコミュニケーションや作業等を行う技術のこと。

○**新たな漁業制度** [P78]

改正漁業法に基づき行う区画漁業権（養殖を行うための漁業権）免許制度のこと。既存の漁業権者が漁場を適切かつ有効に活用している場合は、引き続きその者に免許する。既存の漁業権がない場合は、地域水産業の発展に最も寄与する者に免許する。

○**育児等保健指導（ペリネイタル・ビジット）** [P22]

産科受診時に、将来生まれる子への育児不安が強く、小児科での指導が必要な妊産婦に対して、小児科への紹介状を発行し、個別相談支援を受ける事ができる仕組み。継続支援が必要な場合は地域の保健師につなげる場合もある。

○**いじめ防止基本方針** [P128]

いじめの防止、早期発見及びいじめへの対処のための対策を総合的かつ効果的に推進するため、いじめ防止対策推進法に基づき策定される基本的な方針のこと。

○**いじめ問題子どもサミット** [P128]

県内の小・中学生代表による「いじめのない学校づくり」に向けた取り組み発表や意見交換等を通して、いじめ問題を主体的に考え、いじめ防止に対する意識を醸成することを目的に開催する会議のこと。

○**移住・交流ポータルサイト** [P74]

UIJ ターンや都市部と地方部の交流に役立つ情報を提供する HP(ホームページ)。各自治体の空き家バンク等の HP にも接続されていて、情報収集が容易に行える。

○**移住コンシェルジュ** [P74]

移住に関する情報発信や相談受付、受け入れ先の自治体等との連絡調整などの様々なニーズに対して、一元的に対応する人のこと。

○**いつでも子育てほっとライン** [P20,P23]

本県が設置する子育ての悩みを 24 時間・365 日受け付けているフリーダイヤルの電話相談窓口。フリーダイヤル 0120-462-110（よろず ひゃくとーばん）。

○**イノベーション** [P89,P91,P94,P103]

新技術の発明や新規のアイデア等から、新しい価値を創造し、社会的変化をもたらす自発的な人・組織・社会での幅広い変革のこと。

○**医療機能の分化・連携** [P34]

医療機関が有する病床について、高度急性期、急性期、回復期、慢性期といった 4 つの医療機能別にその役割分担を重点化・明確化するとともに、機能の異なる医療機関が連携することで、患者の状態に応じた適切な医療を地域において効果的かつ効率的に提供する体制を構築するもの。

○**医療情報等ネットワーク** [P34]

患者の同意のもと、医療機関等の間で、診療上必要な医療情報（患者の基本情報、処方データ、検査データ、画像データ等）を電子的に共有・閲覧することを可能とする仕組み。

○**医療的ケア児** [P21]

医学の進歩を背景として、NICU（新生児特定集中治療室）等に長期入院した後、引き続き人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な障がい児。

○**医療的ケア児等コーディネーター** [P22,P26]

医療的なケアが必要な障がい児等が地域で安心して暮らしていけるよう、支援の総合調整を適切に行う人のこと。

○**インキュベーションファーム** [P116]

豊後大野市の新規就農者技術習得研修施設のこと。2 年間の研修の中で、夏秋ピーマンを中心に栽培基礎技術や農業経営について研修している。

○**イングリッシュ・デイ・キャンプ** [P126]

県内勤務の ALT（外国語指導助手）等とともに、英語を用いて以下のような活動を行い異文化理解や英語使用の意欲付けを図るために実施する日帰り合宿のこと。

【小学生】自己紹介、海外の遊び、英語劇発表、大分の紹介 など

【中学生】インタビュー、課題劇、英語で日記、課題解決に向けた発表 など

○**インターンシップマッチングサイト** [P104]

県内企業の実施するインターンシップの情報を掲載し、インターンシップ受入企業の検索から申込み、マッチングまでをワンストップで実現する専用サイト。

○**インバウンド** [P6,P95,P97,P101,P109,P114,P119,P147,P149]

外国人が訪れてくる旅行のこと。日本へのインバウンドを訪日外国人旅行又は訪日旅行という。これに対し、自国から外国へ出かける旅行をアウトバウンド（Outbound）又は海外旅行という。

○**宇宙技術および科学の国際シンポジウム** [P90]

宇宙技術および科学の発展や、宇宙開発・利用を推進することを目的に、世界の宇宙工学等の研究者が一堂に会し研究発表や討論を行う国際会議のこと。

○**うま塩プロジェクト** [P30]

高血圧予防やがんリスク低減のため、食塩摂取量 1 日マイナス 3g を目指し、「うま味を上手く使った美味しい減塩料理」を「うま塩」として外食・中食・家庭に普及させる「減塩」の取り組み。

○**エコアクション 21** [P44]

事業者が、環境への取り組みを効果的・効率的に行い、公表するための方法について環境省が策定したガイドライン。また、その取り組みを行う事業者を認証・登録する制度。ISO14001 等と比較して認証取得費用等の負担が軽く、中小企業者等でも取り組みやすい。

○**エコ通勤割引** [P154]

地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量を削減し、交通渋滞の緩和や公共交通機関の利用促進のため、車又はバイクで通勤している方が、毎週水曜日にバスで通勤する場合に、運賃を小人料金（大人料金の半額）に割引引く制度。

○**エコドライブ** [P44]

環境負荷の軽減に配慮した自動車の使用。優しい発進を心がけたり無駄なアイドリングを止めることで燃費の節約に努め、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量を減らす運転のこと。

○エボラ出血熱 [P71]

エボラウイルスによる感染症のこと。感染すると、潜伏期の後、突然の発熱、頭痛、倦怠感、筋肉痛、咽頭痛等の症状を呈す。次いで、嘔吐、下痢、胸部痛、出血（吐血、下血）等の症状が現れる。

○エンパワーメント [P106]

自分らしい生き方を選びとる力、経済的に自立できる力、政策・方針決定の場に参画する力など、様々な場面で力をつけること。

○おおいたうつくし作戦 [P45]

県民総参加型の取り組みであるごみゼロおおいた作戦の成果を生かし、地域活性化型にステップアップさせた作戦。うつくしの「う」は海（海、河川などの豊かな水、貴重な干潟など）、「つ」は土（肥沃な土壌、大地、温泉、ジオサイトなど）、「く」は空気（澄んだ大気、さわやかな風）、「し」は森林（豊かな自然の象徴）を表す。

○おおいた型放牧 [P84]

草地、林地、水田及び耕作放棄地などを活用し牛を放牧するもので、中山間地域の多い本県の土地や自然に適した放牧方法のこと。

○オオイタカテ！ [P104]

大分で「活躍する企業」や「働く人」、「魅力的な大分」を発信し、県内就職を後押しするために創刊した Web マガジン。

○おおいた教育の日 [P130]

県民が一体となって、明日の大分を担う心豊かでたくましい子どもたちの育成等を図るため、「おおいた教育の日条例」により、11月1日を「おおいた教育の日」と定め、その前後の期間に県内全域で様々な取り組みを行っている。平成17年度から実施しており、平成25年度からは年間テーマを決め、県内1市町村を主会場として推進大会を開催している。

○大分県IoT推進ラボ [P90]

様々な地域の課題（ニーズ）とIoT、AI、ビッグデータ、ロボットなどの先端技術やアイデア（シーズ）をマッチングすることで、先端技術を活用し、地域課題の解決に資するプロジェクトを創出するため、大分県が設置した機関。

○大分県公営住宅マスタープラン2020 [P66]

大分県内のすべての公営住宅（県営及び市町村営住宅）を対象に、公営住宅が抱える諸課題の解決を図るとともに、将来に渡って安心して暮らせる住宅を確保し、地域の活性化に資することを目的とした計画。

○大分県情報セキュリティポリシー [P90]

大分県が公務において取り扱う情報について、その管理体制や物理的脅威、人的脅威、技術的脅威から保護するため対策等を定めたもの。基本方針、対策基準、実施手順等からなる。

○大分県地域強靱化計画 [P65]

事前防災及び減災その他迅速な復旧復興並びに地域間競争力の向上に資する強靱な地域づくりの指針となる国土強靱化基本法に基づく計画。

○大分県版第4次産業革命〆OITA4.0、[P89,P157]

IoTや人工知能（AI）、ロボットなどの先端技術を活用する第4次産業革命の流れを大分県にも取り込んでいくことにより、先端技術を活用した新しい製品やサービスを数多く生み出し、県内産業の振興を図るとともに、本県の製造業やサービス業など産業の構造転換を進め、様々な地域課題の解決を目指す取り組み。

○おおいた食（ごはん）の日 [P56]

大分県食育推進条例で、11月19日を「おおいた食の日」、おおいた食の日の属する週を「おおいた食育ウィーク」と定めている。この期間に、食育に関する普及啓発行事を重点的かつ効率的に行う。

○おおいたスタートアップセンター [P86]

創業を目指す者、創業後の成長を目ざす者を強力にサポートするため、平成27年に大分県ソフトパーク内に設置した創業支援拠点のこと。

○大分青果センター [P79]

令和元年6月に大分市青崎の大分臨海工業地帯（6号地）において、全国農業協同組合連合会大分県本部が設置した県産農産物の物流拠点。

○おおいた青少年総合相談所 [P134]

子ども・若者のための支援機関をワンストップ化することにより、利用者の利便性の工夫や、総合的かつ継続的な支援が行えるよう3機関（青少年自立支援センター、児童アフターケアセンターおおいた、おおいた地域若者サポートステーション）を1か所に集約した機関。

○大分大学医学部地域枠 [P34]

大分大学医学部において、卒業後に一定期間、県が指定する医療機関で医師として勤務する意思を有する学生を、県から修学資金の貸与を受けることを条件に選抜する制度。

○おおいたツーリズム大学 [P98,P108,P120]

ツーリズムに取り組んでいる人や、これから取り組もうとしている人が抱える課題や悩みに対し、講義や体験・視察、議論を通じて、今後の取り組みの方向性や解決策を得ることを目的とした課題解決型の講座。

○おおいた妊娠ヘルプセンター [P22,P23]

望まない妊娠や若年者の妊娠などの悩みを抱える人が相談できる窓口。専任の助産師や産婦人科医師が相談に対応。

○おおいた農業経営相談所 [P82]

法人化・労務管理・事業計画作成・規模拡大など農業者が抱える経営課題の解決を図るため、専門家の派遣など伴走型の支援を行う相談所のこと。

○おおいた働き方改革共同宣言 [P104]

平成29年8月に労使代表者、有識者等で構成する「大分県働き方改革推進会議」において、「働き方改革」を積極的かつ継続的に推進するために行った宣言。①一般労働者の年間総実労働時間全国平均以下（2020年）、②年次有給休暇取得率70%以上（2020年）、③男性の育児休業取得率13%以上（2020年）、④25～44歳女性の就業率77%以上（2022年）の達成を掲げる。

○おおいた留学生ビジネスセンター（SPARKLE） [P100]

平成28年11月に以下3点を目的に別府市京町のAPU PLAZA OITA 2Fに設置された支援施設。
①留学生の県内企業への就職支援、②留学生の県内における起業支援、③留学生と協働して、大分県内でビジネスを展開したい企業等支援

○おおいた和牛 [P77]

「おおいた豊後牛」の中でも、米やビール粕などの給与により美味しさを追求する農場で育てられた肉質等級4等級以上の和牛肉のこと。

○大苗育苗（施設） [P118]

なしの苗木を育成するための施設。通常、なしの栽培では1.8m程度の苗木を植え付けるが、高さ5mの足場を組み流線型仕立てに適した大苗を育成する。

○オープンデータ [P89]

国や地方公共団体、事業者が保有するデータのうち、誰もがインターネット等を通じて容易に無償で利用できるように、二次利用可能なルールを基で機械判読に適した形式で公開されたデータ。

○親なきあと [P35]

障がい者の保護者が亡くなったり、保護者が高齢やその他の理由で支援を続けられなくなったとき、障がい者の生活が成り立たなくなるのではないかと、という問題のこと。

○温室効果ガス [P43]

大気を構成する気体であって、赤外線を吸収し再放出する気体のことをいう。地球温暖化対策の推進に関する法律では、二酸化炭素(CO₂)、メタン(CH₄)、一酸化二窒素(N₂O)、ハイドロフルオロカーボン類(HFCs)、パーフルオロカーボン類(PFCs)、六フッ化硫黄(SF₆)、三フッ化窒素(NF₃)の7物質が温室効果ガスとして定義されている。

■か行

○外国語指導助手（ALT:Assistant Language Teacher） [P125]

日本人教師を補佐し、生きた英語を子どもたちに伝える英語を母語とする外国人等をさす。

○外国人総合相談センター [P100]

在住外国人等の仕事や生活に関する相談に多言語で対応するため自治体が設置するもの。大分県では令和元年6月におおいた国際交流プラザ内に開設。

○介護ロボット [P32,P36]

ロボット技術を利用した介護者の負担軽減や利用者の自立支援に役立つ介護機器。国においては、①移乗介助、②移動支援、③排泄支援、④見守り・コミュニケーション、⑤入浴支援、⑥介護業務支援の6分野について、重点的に開発・実用化を進めることとしている。

○海洋プラスチックごみ [P41,P80]

陸域等から海洋に流れ着いたプラスチックゴミのこと。

○価格安定制度 [P82]

計画出荷に基づいて出荷された野菜の市場価格が低落した場合に、価格差を補給し、野菜生産農家の経営安定並びに消費地域への安定供給を図る制度。

○課題解決型学習（PBL） [P126]

学習指導の方法の一つで、児童生徒が自ら発見した実社会の課題や問題の解決に取り組み、その学習の過程で、経験や知識を得たり、能動的な学習能力や課題解決能力などを身に付けたりする学習方法。

○家畜伝染病 [P71]

家畜の伝染性疾患のうち、その病性、発生状況、予防・治療法の有無、畜産情勢などを勘案し、発生によるまん延を防止するため、殺処分などの強力な措置を講ずる必要があるもの。家畜伝染病予防法において指定しており、現在、28種類の疾病が指定されている。

○合併処理浄化槽 [P42,P64]

微生物の働きなどを利用し、し尿に加え、台所、洗濯、風呂などの生活雑排水をあわせて浄化し、放流するための施設。適正な維持管理を行えば下水道と同等の処理機能が得られる。

○カルチャーツーリズム [P98,P138,P140]

日本の独自の歴史に根ざした文化財、伝統的な祭りや芸能、工芸、生活文化などに触れ、これらに関する知識を深めることを目的とする観光のこと。

○環境基準 [P41]

環境基本法第16条第1項において定義されている「大気の汚染、水質の汚濁、土壌の汚染及び騒音に係る環境上の条件について、それぞれ、人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準」。環境基準は行政上の政策目標であり、直接、工場等を規制する規制基準とは異なる。

○環境保全ネットワーク [P45]

環境保全に係る情報共有などを目的とした、団体や行政機関などのつながりのこと。

○関係人口 [P63,P73,P108,P120]

移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる地域外の人々のこと。地域づくりの新たな担い手となることが期待されている。

○がんゲノム医療 [P33]

主にがん組織を用いて、遺伝子を網羅的に調べ、一人一人の体質や病状に合わせて治療などを行う医療。

○看護師基礎教育モデル [P132]

学士課程4年間で看護師基礎教育を行うこと。平成23年度から全国に先駆け大分県立看護科学大学で開始。目指す看護師像と身に付ける能力を明確にし、地域包括ケアシステムの推進など社会の動向を踏まえたカリキュラムを展開。

○完全キャッシュレス [P87]

現金を全く使用せず、キャッシュレス手段（クレジットカード、電子マネー、QRコード等）のみを使用する状態のこと。

○感染症指定医療機関 [P72]

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」で規定されている感染症の中で、特別な対応が必要な感染症患者を治療する医療施設のこと。

○完全養殖 [P80]

持続的な養殖を行うため、天然の卵や幼魚に頼ることなく、人工孵化によって育てられた成魚から採卵し、再び人工孵化を行う養殖サイクルのこと。

○間伐 [P44,P109]

隣り合わせた樹木の葉が互いに接し、立木間の競争が生じはじめた森林において、林木の利用価値の向上と森林の有する諸機能の維持増進を図るため、目的とする樹木の密度を調節する伐採のこと。

○機能部品 [P120]

ブレーキや変速機など、自動車の基本的な機能を担う部品・ユニット。

○機能別団員 [P70]

能力や事情に応じて特定の活動にのみ参加する消防団員。

○キャトルステーション [P116,P118]

農家で分娩した牛の母子を施設へ預託することで、畜舎を増築することなく預託中の空きスペースを活用して増頭ができるシステム。母牛の繁殖管理、子牛の哺育・育成などの煩雑な作業を施設が一元管理することにより農家の省力化も期待できる。

○キャリア教育 [P124,P130]

一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくよう促す教育のこと。

○キャンドルナイト [P46]

省エネと節電意識を高めるため、「夏至の日」と「七夕の日」の夜に不要な電気を消す取り組み。平成16年度から実施しており、平成21年度からは、冬期にも取り組んでいる。

○九州観光推進機構 [P102]

九州地方知事会と九州経済連合会、九州商工会議所連合会、九州経済同友会、九州経営者協会からなる九州地域戦略会議で策定された「九州観光戦略」を実行するため平成17年4月に設立された組織。九州ブランドイメージの確立や九州一体となった海外誘客の推進や県境を越えた広域観光周遊のための環境整備に取り組んでいる。平成26年度から一般社団法人となっている。

○九州まるごと“インバウンド立圏”宣言 [P96]

2018年の第34回九州地域戦略会議において、今後も拡大が見込まれるインバウンド需要の取込みに向け、九州の観光資源の強みやポテンシャルに磨きをかけ売り込むとともに、受入環境の充実などに九州官民一体となって取り組むため共同で宣言したもの。

○教育遺産 [P142]

日田市が、茨城県水戸市、栃木県足利市、岡山県備前市と協同で世界遺産登録を目指している国の文化財に指定されている16世紀以降の教育遺産群で、最大の私塾「咸宜園」、最大の藩校「弘道館」、最古の学校「足利学校」、最古の郷校「閑谷学校」からなる。

○「協育」ネットワーク [P134,P135]

学校・家庭・地域がそれぞれの役割と責任を持ち、連携・協力して子どもに関わる教育の協働（「協育」）を推進するためのネットワークのこと。

○共食 [P56]

家族、友人、職場や地域の仲間などと一緒に食事をする。共食をすることで、バランスのよい食事をすることができ、食事の大切さや楽しさ、マナー、食文化を子どもに伝えることができる。

○教職員評価システム [P130]

教職員の能力開発・資質向上と学校組織の活性化を目指すシステムのこと。校長等が学校の重点目標等から教職員が設定した自己目標の達成状況を評価する「目標管理」と、校長等が教職員の能力、姿勢・意欲、実績を相対的に評価する「能力評価」の2つの柱で構成される。

○共生者 [P48]

暴力団に利益を供与することにより、暴力団の威力、情報力、資金力等を利用し、自らの利益拡大を図る者。

○協働コーディネーター [P62]

NPO情報の提供や相談、調査・研究、ネットワークづくり、人材育成など、NPOに関する様々な支援を行う人のこと。

○共同受注センター [P38]

就労継続支援事業所の受注機会の拡大等を図るため、官公庁、民間企業等からの業務受注の窓口となり、各就労支援施設へ仕事の紹介を行っている組織。

○漁業学校 [P81,P120]

漁業への就業を目指す若者が実践的な漁業技術や知識を修得し、即戦力となる漁業就業者を育成する研修制度。

○拠点市場 [P79]

大分県産の農産物を有利販売するため、都市部の市場において取り扱いシェアを高めるなど流通の拠点とする市場のこと。

○緊急消防援助隊 [P68]

大規模災害等において都道府県内の消防力では対応が困難な場合に、被災地に対して被災地外の都道府県から消火・救助・救急などの応援を行うために登録されている部隊。

○くじゅうアグリ創生塾 [P81]

県内9校の農業系高等学校の生徒を対象とした研修施設のこと（平成31年4月開設）。久住高原農業高等学校に隣接し、高校生同士が切磋琢磨しながら高い農業スキルを身につける研修を行う。

○クラスター事業 [P110]

畜産農家をはじめとする関係者が連結・結集した地域ぐるみでの高収益畜産体制（畜産クラスター）構築を推進する国庫事業のこと。

○グリーンツーリズム [P80,P96,P108,112,P120]

都市住民が農山村において、農作業体験や自然を舞台としたスポーツなどを通じて、人・自然・文化との交流を楽しむ滞在型余暇活動。

○クリエイター [P85,P102,P140]

デザイナー、イラストレーター、フォトグラファーなど創造的な仕事をしている人。創作者、制作者。

○グループホーム [P35]

アパートなどの住宅において、共同で生活する障がい者に対して、相談や日常生活上の援助を行うサービス。入浴、排泄、食事の介護等の必要性が認定されている方には介護サービスも提供。

○グローバルゼーション [P5,P91]

人、カネ、モノが国家の枠組みを超えて活発に移動し、各国の経済開放や経済市場の統合などが進む現象。

○グローバルリーダー育成塾 [P125]

平成 28 年度から、世界へ挑戦する気概やリーダーとしての素養の育成に向けて、年 4~5 回、高校 1、2 年生を対象に、世界で活躍する講師の講演や他校の生徒や県内在住の留学生・ALT 等との意見交換や英語によるプレゼンテーション等を実施するもの。

○経営革新 [P85,P88,P98]

新商品の開発や生産など、新たな事業活動を行うことにより、経営を相当程度向上（付加価値額・経常利益の向上）させること。

○芸術文化ゾーン [P131,P139]

芸術文化の持つ創造性を生かして県政の諸課題に取り組むため、県立美術館と県立総合文化センターを中心に、自治体や文化施設、芸術文化団体、NPO、医療・福祉、商工業、教育関係者が連携する体制の呼称。

○ゲノム育種価 [P77]

血液や毛根から抽出した DNA をもとに、産肉能力に関し、その牛が持っている遺伝的な能力の度合いを数値で示したもの。

○健康アプリ「おおいた歩得（あるとっく）」 [P30]

日常のウォーキングや健診などによって健康ポイントが付与され、ポイントが貯まると県内の協力店舗にて特典が受けられるスマートフォンのアプリ。

○県広域防災拠点 [P68]

市町村を越える広域的な大規模災害の発生に際して、国、市町村、防災関係機関との連携のもと、応急対策を迅速に進めるための総合的な拠点。救助・救急、消火に係る各支援部隊の結集、宿営の拠点、災害医療活動の拠点、救援物資の集積・仕分け・輸送に係る活動の拠点、これらの活動を総合的に調整する拠点をいう。

○健康経営 [P30]

従業員の健康づくりを通じて、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化を図り、会社の益を生もうとする経営方針。

○健康寿命 [P5,P29]

健康な状態で過ごすことのできる期間。国民生活基礎調査から算出した「日常生活に制限のない期間の平均」を指標として用いている。

○原子力災害対策重点区域 [P67]

原子力規制委員会の「原子力災害対策指針」に定められた区域で、原子力施設から概ね半径 5km 以内の予防的防護措置を準備する区域と、半径 30km 以内の緊急防護措置を準備する区域のこと。

○県民安全・安心メール [P68]

大雨や洪水などの気象警報や津波警報・注意報、避難勧告・指示などの防災情報などを、携帯電話やパソコンに電子メールで知らせるシステム。

○県立病院精神医療センター [P33]

令和 2 年秋開設予定。精神疾患の急性期患者に対し、短期・集中的治療を実施するとともに、重篤な身体合併症（精神疾患に身体疾患が合併した状態）患者に対し専門的な医療を提供する役割を担う。

○原料原産地表示制度 [P79]

平成 29 年 9 月に食品表示基準が改正されたことにより、すべての加工食品（輸入品を除く）について重量割合上位 1 位の原材料の原産地表示を義務化する制度のこと。令和 4 年 3 月 31 日までは経過措置期間として運用している。

○広域回遊資源 [P78]

マグロ、サバなど季節や水温に応じて、広い範囲のほぼ一定の経路を回遊する魚のこと。

○合計特殊出生率 [P7,P19]

15 歳から 49 歳までの女性の年齢別出生率を合計した数値で、1 人の女性が生涯に生む子どもの数の平均を示す。

○高次脳機能障がい [P36]

脳の部分的な損傷により起こる様々な認知・行動の異常。記憶力や注意力が低下したり、感情のコントロールが困難になるなどの症状を呈し、日常生活や仕事（学習）の場面でしばしば支障をきたす。

○高性能林業機械 [P78,P114,P116]

木材生産において行う伐採や玉切りなど複数の作業能力を持つ機械で、作業の効率や身体への負担軽減など、チェーンソーや刈払機等の機械と比べて性能が高い林業機械のこと。

○高大接続改革 [P124]

「高大接続改革実行プラン」（平成 27 年 1 月文部科学大臣決定）に基づく、高等学校教育、大学教育及びそれらを接続する大学入学者選抜の一体的な改革をさす。

○交通管制システム [P50]

交通の安全と円滑等の確保及び交通公害その他の道路の交通に起因する障害の防止を目的に交通管理を一元的に行うシステム。

○交通系 IC カード [P154]

鉄道やバスなどの、公共交通機関を利用する際に運賃などとして利用できる IC カードなどによるプリペイドカード。駅の自動改札機又はバスの乗降口に設置された簡易 IC リーダーにタッチし、出場・降車の際に再びこれらにタッチすることで精算が可能。

○高等特別支援学校 [P38,P124]

高等部単独の特別支援学校。知的障がいの高等特別支援学校の場合、社会的・職業的自立ができる生徒の育成をめざし、工業、商業、家政等の職業教育に重点を置いたカリキュラムを編成して専門的な教育を行う。

○公認スポーツ指導者 [P146]

各種スポーツ指導者の資質と指導力の向上を図り、指導体制を確立するため、公益財団法人日本スポーツ協会が認定する資格のこと。

○高病原性鳥インフルエンザ [P71]

家畜伝染病予防法において法定伝染病に指定されているウイルス病のこと。A 型インフルエンザウイルスによる鳥類の感染症のうち、鶏に対して非常に高い病原性をもたらす。

○高密度養殖 [P120]

大分県が開発したドジョウの養殖技術で、露地養殖と比較して大幅に効率的かつ安全に養殖できる。

○合理的配慮 [P35]

行政機関や事業者に対して、障がいのある人から、社会の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられたときに、負担が重すぎない範囲で対応すること。

○国際バカロレア [P126]

国際バカロレア機構が提供する国際的な教育プログラムのこと。生徒に対し、未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けさせるとともに、所定の成績を収めると国際的に通用する大学入学資格（国際バカロレア資格）が与えられる。

○国産ジビエ認証 [P84]

安全なジビエの提供と消費者のジビエに対する安心の確保を図るため、平成 30 年 5 月に農林水産省が制定した「国産ジビエ認証制度」に基づき、厚生労働省の定めたガイドラインに沿って適切に野生のシカ・イノシシを処理する食肉処理施設に対して行う認証のこと。

○孤食、個食 [P55]

孤食は、一人で食事をすること。個食は、同じ食卓に集まっても家族がそれぞれ別々のものを食べること。孤食や個食により、好き嫌いが増える、栄養が偏る、社会性や協調性が身につかないなどの問題につながる。

○子育て世代包括支援センター [P22]

妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目のない支援を行うため、妊娠・出産・育児に関する情報の提供、各種相談、地域の保健医療機関や福祉に関する機関との連絡調整等を行う窓口。

○子育てほっとクーポン [P20]

子育て支援サービスの利用を促進するとともに子育て世帯の負担を軽減するため、出生時又は転入時に 3 歳未満の子を持つ家庭に配付する、一時預かりや病児保育等様々な子育て支援サービスに利用できるクーポン。

○子ども食堂 [P20,P25,P56,P60]

子どもやその親、および地域の人々に対し、無料又は安価で栄養のある食事や温かな団らんを提供する子どもの居場所。

○子ども食堂地域ネットワーク [P26]

子ども食堂や自治会、教育関係者等により「子どもの居場所」の情報連携を図ることを目的に、県内でブロックごとに設置しているネットワーク。

○子どもの貧困率 [P25]

17 歳以下の子ども全体に占める、等価可処分所得（世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で割って調整した所得）が貧困線（等価可処分所得の中央値の半分の額）に満たない子どもの割合。

○個別の教育支援計画 [P124]

障がいのある子ども一人一人のニーズを的確に把握し、教育の視点から適切に対応するという考えのもと、医療・保健・福祉・労働等の関係機関との連携を図りつつ、乳幼児期から学校卒業後までの長期的視点に立ち一貫した教育的支援を行うことを目的として、学校が主体となって作成する支援計画のこと。

○個別の指導計画 [P124]

障がいのある子ども一人一人の障がいの状態等に応じたきめ細かな指導を行うために、各学校の教育課程や各教科等の指導計画等を踏まえ、各教科等別あるいは単元・題材別の個別目標、指導内容・方法を盛り込んだ指導計画のこと。

○コミュニティビジネス [P108,P120]

地域の人々が主体となり、多様化・複雑化した地域が抱える課題をビジネスの手法により解決する事業。

■さ行

○災害時健康危機管理支援チーム（DHEAT:Disaster Health Emergency Assistance Team）[P68]

災害発生時に、被災地保健所等に出動し、健康危機管理に必要な情報収集・分析や全体調整などが円滑に実施されるよう、公衆衛生活動の支援を行う。

○災害派遣医療チーム（DMAT:Disaster Medical Assistance Team）[P34,P68]

医師、看護師、業務調整員（医師・看護師以外の医療職及び事務職員）で構成され、大規模災害や多数傷病者が発生した事故などの現場で急性期（概ね 48 時間以内）から活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チーム。

○災害派遣精神医療チーム（DPAT:Disaster Psychiatric Assistance Team）[P34,P68]

自然災害や列車事故等の集団災害が発生した場合に、被災地域の精神保健医療ニーズの把握、他の保健医療体制との連携、各種関係機関等とのマネジメント、専門性の高い精神科医療の提供や精神保健活動の支援を行う。

○災害派遣福祉チーム（DCAT:Disaster Care Assistance Team）【P68】

福祉専門職で構成され、大規模災害の発生時に、避難所や福祉避難所等において高齢者や障がい者等の要配慮者に対する福祉ニーズの把握や相談対応、応急的な支援等を行う。

○災害ボランティアセンター【P61,P70】

災害ボランティア活動を推進する中核的機関のこと。被災地の状況を勘案しながら、県・市町村単位で設置される。

○災害ボランティアネットワーク協議会【P61】

各市町村の災害ボランティアセンターの運営を支える地域団体のネットワーク組織。

○サイクルツーリズム【P110】

自転車に乗ることそのものを楽しむ、あるいは自転車で地域を巡り、沿線の魅力を楽しむ体験型・交流型旅行の促進等を通じた観光地域づくりを目指す取り組み。

○再興感染症【P71】

既知の感染症で、既に公衆衛生上の問題とならない程度にまで患者数が減少していた感染症のうち、近年再び流行しはじめ患者数が増加したものをいう。結核、ジフテリア、デング熱など。

○再生可能エネルギー【P39,P83,P93】

自然の営みから半永久的に得られ、継続して利用できるエネルギー。有限でいずれ枯渇する化石燃料などと違い、自然の活動によってエネルギー源が絶えず再生、供給され地球環境への負担が少ない。新エネルギー（中小水力・地熱・温泉熱・太陽光・風力・バイオマスなど）、大規模水力、波力・海洋温度差熱などのエネルギーをさす。

○再造林【P44,P78,P109,P117,P119】

人工林の伐採跡地に人工造林を行うこと。県内では、スギ・ヒノキ人工林の伐採後、林業適地には再びスギ・ヒノキの苗木を植栽することが多い。

○サテライトオフィス【P92】

企業本社から離れた場所において開発等を行うために設置されたオフィス。

○サプライチェーン【P78,P94,P112】

原料の段階から製品やサービスが消費者の手に届くまですべての工程をひとつの連続したシステムとして捉える考え方のこと。

○サフラン【P116】

アヤメ科クロッカス属の多年生球根植物で、摘み取った雌しべを乾燥させ着色料や薬用として用いる。国内では竹田市が生産量日本一であり、明治36年に栽培が始まったとされる。

○坐来大分【P88,P96,P100】

東京銀座で、県産食材を使った料理を提供するレストランを中心に県産品の販売なども行う本県のフラッグシップのこと。

○サロン【P30,P32,P60,P64】

地域住民が担い手となって自主的に運営する、高齢者や障がい者、子育て中の親などが身近な場所で気軽に集えるような交流の場。

○しいたけ原基塾【P116】

しいたけの生産技術向上を目的として、生産量の拡大、品質の向上を目指し、研修会、学習会を開催し、生産者間の情報共有、意見交換等の交流を通じて意欲の高揚を図る新規参入を中心とした会員組織。

○ジオパーク【P39,P98,P101,P107,P109,P115】

地球科学的、歴史・文化的に貴重な地質遺産等を保全し、調査研究を行うとともに、教育学習活動やツーリズム等に有効活用する取り組みを行う地域のこと。大地（Geo）と公園（Park）を組み合わせた造語。2020年4月現在、国内では43地域が日本ジオパークに認定されている。

○磁気特性測定拠点【P94】

モータや変圧器などに用いる磁性材料が持つ磁気的な特性を測定する技術及び設備の総称。

○事業引継ぎ支援センター【P86】

産業競争力強化法に基づき、国が全国に設置する支援機関。中小企業・小規模事業者の第三者承継（M&A、後継者人材バンク）、親族内承継、事業承継診断、承継にあたっての経営の改善や磨き上げ、税務や法務などに関する専門家の派遣、後継者の新事業展開支援などを行なっている。

○自主防災組織【P69】

自治会などを単位とした地域住民の連帯意識に基づく自主的な防災組織。平常時においては、防災訓練の実施、防災知識の啓発、防災巡視、資機材の共同購入などを行い、災害時においては、初期消火、住民の避難誘導、負傷者の救出・救護、情報の収集・伝達、給食・給水、災害危険箇所の巡視などを行う。

○次世代育成支援【P104】

次世代育成支援対策推進法に基づき、次代の社会を担う子どもや、子どもを育てる家庭の支援、また事業主が行う雇用環境の整備等の取り組みのこと。

○次世代モビリティサービス【P6,P64,P90】

人工知能（AI）や自動走行などの先端技術を活用し、移動に関する最適化や利便性・効率性の向上のみならず、新たな価値を生み出すサービス。

○自然共生社会【P39】

生物多様性が適切に保たれ、自然とふれあう機会が確保され、社会経済活動においても自然と調和するなど、自然の恵みを将来にわたって享受できる社会。

○自然公園【P39】

優れた自然の風景地を保護するとともに、自然に親しむ場としてその利用の増進を図ることを目的に、自然公園法や都道府県条例に基づいて指定された公園。国立公園、国定公園及び都道府県立自然公園がある。県内には、国立公園2ヶ所、国定公園3ヶ所、県立自然公園5ヶ所がある。

- 持続可能な開発のための教育 (ESD:Education for Sustainable Development) [P124]**
気候変動、生物多様性の喪失、資源の枯渇、貧困の拡大等、人類の開発活動に起因する現代社会における様々な問題を、各人が自らの問題として主体的に捉え、身近なところから取り組むことで、それらの問題の解決につながる新たな価値観や行動等の変容をもたらし、もって持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習・教育活動のこと。
- 持続可能な開発目標 (SDGs:Sustainable Development Goals) [P5,P39]**
平成 27 年 (2015 年)9 月の国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」の中核をなす SDGs (持続可能な開発目標 :Sustainable Development Goals) は、持続可能な世界を実現するための 17 のゴールと 169 のターゲットで構成される国際目標であり、経済・社会・環境をめぐる広範囲な課題を不可分なものとして統合的に解決することを目指す。
- 自治医科大学 [P34]**
へき地等で勤務する医師を養成することを目的に、全都道府県が共同で設立した栃木県にある大学。
- 児童家庭支援センター [P24]**
子ども、家庭、地域住民等からの相談に応じ、必要な助言、指導を行うとともに、市町村への助言や援助、関係機関との連絡調整等を行う児童福祉施設。
- 児童自立支援施設 [P24]**
不良行為等の理由により生活指導等が必要な児童の自立支援を行うことを目的として、入所等により指導を行う児童福祉施設。
- 児童心理治療施設 [P24]**
家庭や学校における交友関係等環境上の理由により社会生活への適応が困難となった児童に対し、入所等により必要な治療や生活指導等を行う児童福祉施設。
- 児童発達支援センター [P26]**
通所支援のほか、身近な地域の障がい児支援の拠点として、「地域で生活する障がい児や家族への支援」、「地域の障がい児を預かる施設に対する支援」などの地域支援を実施する。医療の提供の有無によって、「福祉型」と「医療型」とに分かれる。
- ジビエ [P83]**
狩猟で得た自然の野生鳥獣の食肉を意味する言葉（フランス語）で、ヨーロッパでは貴族の伝統料理として古くから発展してきた食文化。
- シビックプライド [P102]**
「都市に対する市民の誇り」のこと。単なる自慢や郷土愛ではなく、自分自身が関わって地域をよくしていこうとする、当事者意識に基づく自負心を指す。
- 社会教育施設 [P135]**
人々の学習活動の拠点となる施設であり、公民館をはじめ、図書館、博物館、青少年教育施設、婦人教育施設、視聴覚センター、生涯学習推進センター等のこと。

- 社会的養護 [P24]**
家庭において適切な養育を受けることができない子どもに対し、公的責任の下で代替養育や保護を行うこと。
- 若年性認知症 [P32]**
65 歳未満で発症した認知症性疾患を総称したもの。就労や生活費、子どもの教育費等の経済的な問題のほか、配偶者が主な介護者となる場合が多く、その配偶者も仕事が十分にできにくくなり、身体的にも精神的にも負担が大きい。
- 周産期 [P21]**
妊娠 22 週目から生後 7 日未満の期間をいう。母体や胎児・新生児にとって最も大切な時期である。
- 就農学校 [P81,P110,P112,P115,P120]**
園芸戦略品目に取り組む新規就農者を確保・育成するため、市町村などが研修施設を設置し、農業経営に必要な技術や知識を教授する研修制度。座学や実習のほか、地域活動への参加などにより、産地・地域を牽引する担い手を育成する。
- 住民参加型福祉サービス [P60,P64]**
ごみ出しや庭の草取り、子どもの見守り等のちょっとした困りごとを、お互いが気を遣うことなく、有償でお手伝いする地域の支え合い活動。
- 重要物流道路 [P150]**
道路の構造、貨物を積載する車両の運行及び沿道の土地利用の状況並びにこれらの将来の見通しその他の事情を勘案して、全国的な貨物輸送網の形成を図るため、貨物積載車両の能率的な運行の確保を図ることが特に重要と認められる道路について、区間を定めて、国土交通大臣が指定した道路。
- 集落営農 [P82,P110]**
集落などの地縁的にまとまりのある地域の農家が、農地利用あるいは農業生産過程の一部又は全部について、共同化・統一化に関する合意のもとに実施する営農形態のこと。
- 集落営農法人 [P116]**
集落営農を行う組織の中で、「法人格」を有する組織のこと。
- 集落支援員 [P64]**
地域の実情に詳しく、集落対策のノウハウや知見を有した人材が、集落への巡回や目配りを行い、自治体と連携しながら地域の維持・活性化を図る総務省の制度。
- 就労継続支援 A 型事業所 [P38]**
一般企業等で働くことが困難であるが、雇用契約に基づく就労が可能である者に対して、雇用契約を締結した上で、就労機会の提供や就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行う就労支援施設。
- 就労継続支援 B 型事業所 [P37]**
一般企業等で働くことが困難であり、雇用契約に基づく就労が困難である者に対して、就労機会の提供や就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行う就労支援施設。

○受援体制 [P67]

大規模災害時に本県が応援を受ける際の要請手順、応援に使用する活動拠点等をあらかじめ整理し、警察、消防、自衛隊などの広域的な応援や他の自治体等からの応援を、迅速かつ効率的に受け入れ、効率的、効果的に災害応急対策を実施する体制。

○宿坊 [P120]

寺院等に併設された簡易な宿泊施設等のこと。

○主権者教育 [P123]

社会・経済の仕組みを理解し、主体的に社会に参画する、自立した主権者として必要な能力・態度を育成する教育のこと。公職選挙法改正（平成 27 年 6 月）により選挙権年齢が 18 歳以上に引き下げられたことを踏まえ、主権者教育の充実が求められている。

○主伐 [P44,P78,P109,P116,P117,P119]

一定の林齢に達した立木を用材などとして販売するために伐採すること。一度に全面積を伐採する「皆伐」と、何度かに分けて抜き伐りする「択伐」がある。

○循環型社会 [P41]

廃棄物の 3R(発生抑制・再使用・再利用)を推進し、また適正に処理することにより、天然資源の消費が抑制され、環境への負荷ができる限り低減される社会のこと。

○飼養衛生管理基準 [P72]

家畜伝染病予防法の規定に基づき、飼養者が家畜を飼養、管理するうえで守らなければならない基準のこと。家畜を衛生的に飼養管理する区域設定、畜舎及び器具の清掃・消毒、農場に出入りする車両の消毒、野生動物の侵入防止の実施などが定められている。

○障がい者アート [P140]

障がいのある人が楽しみながら創作活動を行うことで豊かな心を育み、それが他者とのコミュニケーションの手段となり、自己表現ができるようになるなど、障がい者の自立と社会参加を図る上で大きな意義を有する活動。

○障がい者雇用アドバイザー [P38]

障害者就業・生活支援センターやハローワークと連携の下、県内企業や福祉施設等の関係機関を訪問し、新たな仕事の切り出しや福祉施設等からの就労希望者のマッチングに向けての助言等支援を行うアドバイザー。

○障害者雇用促進法 [P37]

障がい者の雇用義務等に基づく雇用促進等のための措置、職業リハビリテーションの措置、その他障がい者がその能力に適合する職業に就くこと等を通じて、自立促進のための措置を総合的に講じ、障がい者の職業の安定を図ることを目的とした法律。

○障がい者雇用率 [P5,P35,P37]

障害者雇用促進法に基づき、事業主等に達成義務を課すために設定される、障がい者の労働者数の常用労働者数に対する割合のこと。

○障害者差別解消法 [P57]

すべての国民が障がいの有無によって分け隔てられることのない共生社会の実現を目指すことを目的に、差別禁止やそれが遵守されるための措置等を定めた法律。

○障害者就業・生活支援センター [P38]

障がい者の職業生活における自立を図るため、雇用、保健、福祉、教育等の地域の関係機関との連携の下、障がい者の身近な地域において就業面及び生活面における一体的な支援を行う機関。

○障害者優先調達推進法 [P38]

障害者就労施設等や在宅で就労する障がい者の経済面での自立を進めるため、国や地方公共団体等が率先して、障害者就労施設等からの物品や役務の調達を推進するよう必要な措置を講ずることを定めた法律。

○障がいのある人もない人も心豊かに暮らせる大分県づくり条例 [P36]

すべての県民が障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現し、誰もが心豊かに暮らすことができる大分県づくりに資するために制定された条例。

○小規模集落応援隊 [P64]

高齢化や過疎化による人手不足で困難になりつつある集落道の草刈りや、集会所の掃除、お祭りなどの共同作業を、集落外の企業やNPO、ボランティア団体などに応援してもらう制度。

○醸造業 [P111]

発酵菌による発酵作用を利用して、酒類・味噌・醤油などを製造する産業。

○消費者教育 [P51,P123]

食の安全・安心に関する問題、環境問題、悪質商法による被害や多重債務など、消費生活に関する社会問題が深刻なものになっている中、消費者教育は、国民の一人一人が自立した消費者として、安心して安全で豊かな消費生活を営むために重要な役割を担うもの。

○常備消防 [P69]

市町村に設置された消防本部及び消防署のことをいう。

○消防団 [P69]

消防組織法に基づき、市町村に設置される消防機関。地域における消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わずその地域に密着し、住民の安心と安全を守るという重要な役割を担っている。

○食育 [P55,P83,P124]

現在および将来にわたり、健康で文化的な国民の生活や豊かで活力のある社会を実現するため、様々な経験を通じて、国民が食の安全性や栄養、食文化などの「食」に関する知識と「食」を選択する力を養うことにより、健全な食生活を実践することができる人間を育てること。

○食育推進全国大会 [P55]

食育推進運動を重点的かつ効果的に実施する 6 月の「食育月間」における全国規模の中核的な行事。平成 18 年から毎年開催されており、第 13 回大会（平成 30 年）は「みんなでかたろう食育のすずめ～うまい!楽しい!元気な大分～」をテーマに大分県で開催された。

○食生活改善推進員 [P30]

健康生活について正しい知識と技術を学習し、自らが健康生活の実践者となり「私達の健康は私達の手で」をスローガンに、食を通じた地域の健康づくり活動をしているボランティア。

○食品ロス [P41,P56]

まだ食べることができるが、生産、製造、販売、消費等の各段階において発生し、廃棄される食品のこと。

○自立支援型ケアマネジメント [P32]

高齢者が自身の有する能力を可能な限り生かし、生活の関心や意欲を引き出しながら、尊厳を持った生活ができるよう、様々な社会資源を活用して支援していくこと。

○新大分スタンダード [P123]

基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着に加え、「学びに向かう力」と「思考力・判断力・表現力」の育成を目指し、次の4つの視点に基づいて授業を実施するもの。①1時間完結型（「めあて」と「ふり返し」のある授業）②板書の構造化（考えたことを整理したり、ふり返ることができる板書）③習熟の程度に応じたきめ細かい指導④問題解決的な展開の授業（自分の考えをもち、それを表現したり、交流活動で深めたりする授業）

○新型インフルエンザ [P71]

季節性インフルエンザとは抗原性が大きく異なるインフルエンザであって、一般に国民が免疫を獲得していないことから、全国的かつ急速なまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

○新型コロナウイルス感染症 [P71]

2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認された感染症で、世界的な感染拡大を引き起こし、2020年3月には世界保健機関（WHO）によりパンデミック（世界的な大流行）とみなせると表明された。日本においても2020年2月に指定感染症と定められた。

○新興感染症 [P71]

近年、新しく認識された感染症で、局地的あるいは国際的に公衆衛生上の問題となるものをいう。HIV（エイズ）、エボラ出血熱、MERS（中東呼吸器症候群）、SFTS（重症熱性血小板減少症候群）など。

○人生会議 [P34]

自らが望む人生の最終段階における医療・ケアについて前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取り組みである「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」の愛称。

○芯の通った学校組織 [P129]

学校教育課題の解決に向けて具体的な目標や取り組みを設定し、目標達成のために学校全体で検証・改善を重ねるとともに、その基盤として校長等管理職の下、ミドルリーダーたる主任等が効果的に機能する学校運営体制が構築されている学校組織のこと（平成24年度～）。

○森林環境譲与税 [P78,P84]

森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律に基づき、市町村や都道府県が実施する森林の整備及びその促進に関する施策の財源に充てるため、森林環境税の収入額に相当する額が国から市町村及び都道府県へ譲与されるもの（令和元年9月～）。

○森林経営管理制度 [P83]

森林経営管理法に基づき、市町村を介して、林業経営意欲の低い森林所有者の森林を、意欲と能力のある林業経営者につなぐことで林業経営の集積・集約化を図るとともに、民間が経営しない森林については、市町村が自ら経営管理を行うことのできる仕組みのこと。

○水素サプライチェーン [P94]

水素の製造から輸送・利用までのすべての工程をひとつの連続したシステムとして捉える考え方のこと。

○水田の畑地化 [P5,P77,P109,P112,P114,P115,P117,P120]

水田に導入する園芸品目等に応じた排水対策等を行い、継続的に高収益園芸品目等を作付けること。

○スーパーグローバルハイスクール（SGH） [P124,P125]

国際化を進める国内の大学、企業、国際機関等と連携して、グローバルな社会課題を発見・解決し、様々な国際舞台で活躍できる人材の育成に取り組む高等学校等を文部科学省が指定するもの。県内の指定校は大分上野丘高等学校（平成26年度～平成30年度）。

○スーパーコーチ [P146]

全国トップレベルのチーム・選手を育成した実績を持ち、その経験や知識を生かして指導者全体の指導力向上を図ることを目的として、公益財団法人大分県体育協会が指定する県内の優秀指導者のこと。

○スーパーサイエンスハイスクール（SSH） [P124]

大学や研究機関等と連携してカリキュラムを開発するなど、理数系教育の充実を図る取り組みを行う高等学校等を文部科学省が指定するもの。県内の指定校は大分舞鶴高等学校（平成17年度～）、日田高等学校（平成23年度～）及び佐伯鶴城高等学校（平成29年度～）。

○スーパープロフェッショナルハイスクール（SPH） [P124]

社会の変化や産業の動向等に対応した、高度な知識・技能を身に付け、社会の第一線で活躍できる専門的職業人を育成するため、先進的な卓越した取り組みを行う専門高校等を文部科学省が指定するもの。県内の指定校は大分南高等学校（平成30年度～）。

○スクールカウンセラー [P127]

子どもの臨床心理に関して高度な専門知識を有する公認心理師等で、不登校やいじめ等、児童生徒の問題行動等に対応するため、カウンセリングや教職員への助言等を行う職員のこと。

○スクールサポーター [P134]

専門的知識を有する警察官OBなどを警察本部人身安全・少年課に配置し、学校からの要請に応じて学校に派遣し、学校における少年の問題行動等への対応、巡回活動、相談活動、児童の安全確保に関する助言などを行う。

○スクールソーシャルワーカー [P127]

福祉に関して専門的な知識・技術を有する社会福祉士等で、子どもや家庭が置かれた様々な環境の問題（不登校・いじめ・暴力行為・虐待等）の背景や原因を見極め、子どもや家庭に働きかけるだけでなく、医療機関や福祉機関、警察等と連携して問題解決に向け働きかけを行う職員のこと。

○スポーツ医科学 [P144,P146]

スポーツを医学的（ドクター等）・科学的（トレーナー・栄養士等）な見地から多面的に研究するとともに、これらの知識や研究成果をスポーツ活動に応用し、機能的能力の維持増進、競技力の向上を図ることを目的とするもの。

○スポーツ情報提供システム [P144]

誰もがいつでも運動に親しむことができるよう、居住地域の近隣のスポーツ施設、スポーツサークル、スポーツイベント等の情報をウェブ上で検索できるシステムのこと。

○スマートコミュニティ [P44,P93]

環境に優しい再生可能エネルギーを最大限活用し、蓄電やIT制御技術により、電力や熱など最適なエネルギーの需給バランスを図る仕組みを兼ね備えた街や地域の総称。

○スマート農業 [P116,P120]

ロボット技術や情報通信技術（ICT）を活用して、省力化・精密化や高品質生産等を実現する新たな農業。

○生活衛生関係施設 [P51]

旅館やホテル、理・美容所、公衆浴場、クリーニング所、興行場等、生活衛生営業6法に規定される営業施設。衛生管理が重要であり、自治体の許可等が必要になる。

○生産工程分業化 [P114]

農作物の栽培管理作業や収穫作業、調製作業、出荷作業などの生産工程のうち、労力・時間のかかるいちごのパック詰め作業などの調製作業を外部委託する事により、栽培作業に注力するなど、生産工程の分業化を進めること。

○青少年 [P99,P133,P143]

おおむね30歳未満の者（子ども・若者育成支援推進本部が策定した「子供・若者育成支援推進大綱」による）。

○青少年自立支援センター [P134]

青少年のニート・ひきこもり等を対象とした総合相談（電話相談、来所相談）を行う機関。相談を受け、内容に応じて関係機関や支援団体につなぐ。

○（東九州新幹線の）整備計画路線 [P151]

全国新幹線鉄道整備法第7条に基づき整備が進められている路線。東九州新幹線は昭和48年に同法4条に基づき、建設を開始すべき新幹線鉄道の路線を定める基本計画に追加された。

○生物多様性 [P39]

様々な環境に、様々な生物が様々な個性を持ちつつ適応するとともに、互いに関連しながら存在し、バランスが保たれている状態。

○世界遺産 [P142]

1972年のユネスコ総会で採択された「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」（世界遺産条約）に基づいて世界遺産リスト（世界遺産一覧表）に登録された、文化財、景観、自然など、人類が共有すべき「顕著な普遍的価値」を持つ物件で、移動が不可能な不動産が対象となっている。

○世界温泉地サミット [P29,P98,P101]

平成30年5月に大分県別府市で開催された世界初となる温泉の国際会議。国内外の温泉自治体のトップや経営者、研究者等が集まり、温泉資源の新たな活用と温泉がつなぐ地域資源の多様な活用方法等を議論した。

○世界農業遺産 [P39,P83,P100,P101,P107,P109,P119]

国際連合食糧農業機関（FAO）が2002年に開始したプロジェクトで、次世代に受け継がれるべき伝統的な農業・農法とそれに関わって育まれた文化、景観、生物多様性などが一体となった世界的に重要な農業システム（林業及び水産業を含む。）を認定し、その保全と持続的な活用を図るもの。

○施業集約化 [P110]

森林組合や林業事業者が面的な広がりを持つ隣接する複数の森林所有者から路網の作設や間伐等の施業を受託し、一括して行うこと。個々に行うよりも効率的に施業を行いコストダウンを図ることが可能。

○セクシュアル・ハラスメント [P57]

主に職場において相手の意思に反して不快や不安な状態に追いこむ性的な言動をさし、職務上の地位を利用して性的な関係を強要し、それを拒否した人に対し減給、降格などの不利益を負わせる行為（対価型）や、性的な関係は要求しないものの職場内での性的な言動により働く人たちを不快にさせ、職場環境を損なう行為（環境型）が代表的なもの。

○セクシュアル・マイノリティ [P57]

性的少数者とも言う。何らかの形で「性」のあり方が少数派の人を言い、同性愛者、両性愛者、性同一性障害者などが含まれる。

○全国育樹祭 [P84]

継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発するため、1977（昭和52）年から、全国植樹祭を開催したことのある都道府県において、（公社）国土緑化推進機構と開催県の共催で毎年秋季に行われる全国行事。

○戦略品目 [P79,P109]

変化する消費者や実需者のニーズを的確に捉え、本県の地理的条件を生かし将来にわたって本県農林水産業を牽引する品目のこと。

○創業エコシステム [P85]

自然界の生態系のように、先輩起業家をはじめとした様々な関係者が新進気鋭の若い起業家を育み、循環の中で起業家が連続的に生み出される仕組みのこと。

○総合型地域スポーツクラブ [P30,P144]

学校や公民館など身近な施設を拠点として、子どもから高齢者まで、それぞれの興味・関心に応じてスポーツを中心に様々な活動を行うクラブのこと。

○総合的な探究の時間 [P126]

実社会や実生活の中の事象などを対象に探究課題を設定し、各教科・科目等で身に付けた力を相互に関連付けて課題解決を図る横断的、総合的な学習のこと。従前実施の「総合的な学習の時間」について、より探究的な活動を重視する視点から位置づけを明確にするため、平成30年度公示の新しい高等学校学習指導要領では「総合的な探究の時間」と改められた。

○捜査支援システム [P48]

警察が組織的に収集した捜査情報や資料を整理保管するデータベースを作成し、犯罪現場から収集した情報等とそのデータベースを対照することによって、容疑者を割り出し、絞り込み、又は犯罪を証明するシステムの総称。

○素材生産 [P78]

生育する立木を伐採し、用途に合った長さの素材（丸太）を生産すること。

○組織マネジメント [P129]

校長のリーダーシップの下、ミドルリーダーである主任等が効果的に機能する学校運営体制を構築すること。

■た行

○体験的参加型人権学習 [P58]

一般に「ワークショップ」と呼ばれる学習形態で、能動的に参加し、行動力と意欲を高めようとするもの。身近な人権問題に関連付けさせていくことで人権感覚を高めることを目指している。

○太平洋新国土軸構想 [P151]

中部、近畿、四国、九州、沖縄にまたがり、その主軸は東海（遠州、三河、名古屋、伊勢、志摩）から紀伊半島、淡路、四国、九州中部（熊本、大分）を経て九州西部（長崎、天草）まで東西約800キロメートルに及びエリア。第一国土軸との共存による交通負担の軽減や災害時のルート確保が可能となる。

○第4次産業革命 [P6,P85,P89,P91,P157]

18世紀末以降の水力や蒸気機関による工場の機械化である第1次産業革命、20世紀初頭の分業に基づく電力を用いた大量生産である第2次産業革命、1970年代初頭からの電子工学や情報技術を用いた一層のオートメーション化である第3次産業革命に続く、4番目の産業革命であり、IoT、ビッグデータ、AIなどがコアとなる技術革新を指す。

○確かな学力 [P124]

基礎的・基本的な知識・技能に加えて、学ぶ意欲や自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力等まで含めたもの。

○脱炭素社会 [P43]

21世紀後半に温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と森林等の吸収源による除去量との間の均衡（世界全体でのカーボンニュートラル）を達成した社会のこと。

○ダブルケア [P59]

晩婚化・晩産化等を背景に、育児期にある者（世帯）が、親の介護も同時に担う状態を示す言葉。

○多面的機能 [P39,P84]

水源のかん養、自然環境の保全、国土の保全、良好な景観の形成、文化の伝承など農山漁村で行われる生産活動により生ずる食料やその他の農林水産物の供給機能以外の機能のこと。

○地域移行・地域定着 [P36]

障害者支援施設や精神科病院等に入所・入院している障がい者が、住宅の確保や福祉サービスの調整等により地域で自分らしい暮らしを実現すること。また、その地域生活が継続すること。

○地域おこし協力隊 [P64,P74,P108,P120]

人口減少や高齢化などの進行が著しい地域において、都市住民などの地域外の人材を積極的に活用し、その定住・定着を図ることで、地域力の維持・強化を図る総務省の制度。

○地域共生社会 [P59]

制度や分野ごとの縦割りや支え手、受け手という関係を越えて、住民や多様な主体が参画し、だれもがともに支え合い、人と人とのつながりを感じ安心して暮らせる社会。

○地域牽引企業 [P86]

持続的な成長を通じて地域の雇用や産業活力を生み出し、県経済をリードする地場中小企業のこと。

○地域子育て支援拠点 [P19,P23,P60,P106]

公共施設や保育所、児童館などの地域の身近な場所で、乳幼児のいる子育て中の親子が交流や育児相談ができ、情報提供などを受けられる場所。

○地域材 [P80]

大分県内の森林から産出された原木を製材した木材や県内の原木市場、製材所、製品市場、工務店等を流通する国産材の総称。

○地域資源 [P39,P60,P83,P85,P87,P107,P109,P115,P117,P119,P147]

自然資源のほか、特定の地域に存在する特徴的なものを資源として活用可能な物と捉え、人的・人文的な資源をも含む広義の総称。

○地域児童生徒支援コーディネーター [P128]

教育相談等の専門的知識や技能に長けており、いじめ防止や不登校対策等の取り組みを小・中学校の拠点校で行うとともに、地域の小・中学校における教育相談について支援や助言を行う教員のこと。

○地域生活支援拠点等 [P35]

障がい者の重度化・高齢化や「親なきあと」を見据え、相談、緊急時の受け入れ・対応等の必要な機能を備えた拠点のこと。

○地域農業経営サポート機構 [P84]

集落営農組織を主体とする地域内の複数の担い手から構成され、効率的な営農及び担い手不在集落の対応や就農支援等の課題を総合的にサポートする組織。

○地域包括ケアシステム [P31]

高齢者の誰もがができる限り住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、個々の高齢者の状況やその変化に応じて、医療・介護・介護予防・生活支援・住まいの5つのサービスを一体的に提供できる体制のこと。

○地域連携プラットフォーム [P132]

地域の高等教育機関が地域社会の核となり、産業界や地方公共団体等とともに地域の高等教育のブランドデザインや具体的な連携・交流等の方策について議論する組織。

○チーム学校 [P129]

平成 27 年 12 月に中央教育審議会が答申した「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」において「チームとしての学校」として示されたもので、校長のリーダーシップの下、カリキュラム、日々の教育活動、学校の資源が一体的にマネジメントされ、教職員や学校内の多様な人材が、それぞれの専門性を生かして能力を発揮し、子どもたちに必要な資質・能力を着実に身に付けさせることができる学校のこと。

○知の拠点 [P131]

大学等が、自治体や地元企業と協働しながら、地域社会への成果の還元を意識して教育・研究・社会貢献活動を行うことで、地域課題解決に資する人材、情報、技術等が集積する地域コミュニティの中核的存在としての自らの機能強化を図る取り組み。

○中核林業経営体 [P78,P82,P112,P113,P116,P118,P120]

地域の素材生産や森林整備を中核的に担うことができる林業経営体の呼称。県の認定、登録制度による審査を受けるとともに、年間の素材生産能力 1 万 m³以上、かつ再造林の実行体制を有する林業事業体をその判断基準としている。

○中間支援組織 [P64]

地域社会と NPO の変化やニーズを把握し、人材、資金、情報などの資源提供者と NPO の仲立ちをしたり、また、広義の意味では各種サービスの需要と供給をコーディネートする組織。ここでは、行政機関と地域住民の仲立ちをしながら地域コミュニティ組織の設立や運営の支援を行う組織。

○ツリーシェルター [P118]

単木ごとにシカ、ウサギ、ネズミなどの食害を防ぎ、保温・保湿効果により幼齢木の初期成長の促進が期待できる幼齢木保護ネットのこと。下刈り回数の削減など省力化も期待できる。

○出会いサポートセンター [P22]

若者の結婚に関する希望を応援する県民総参加の縁結びプロジェクト「O I T A えんむす部」による会員制のお見合いサービスを提供する場。「出会いのきっかけ」から「結婚」につながるサポートを行う。

○デジタルトランスフォーメーション [P89]

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。それによって企業として安定した収益を得られるような仕組みをつくること。

○デジタルマーケティング [P95,P100,P101]

WEB、SNS、インターネット広告、モバイルアプリなどデジタル媒体を活用したマーケティング手法。

○デマンドタクシー [P64]

区域や路線を定め、利用者からの予約に応じて運行する、タクシー車両を用いた乗合事業の形態。

○テレワーク [P20,P106]

ICT（情報通信技術）を利用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方。

○伝統的建造物群保存地区 [P142]

昭和 50 年の文化財保護法の改正によって発足した制度で、全国各地に残る城下町、宿場町、門前町など歴史的な集落・町並みの保存が図られるようになったもの。このうち特に価値が高い「重要伝統的建造物群保存地区」として、県内からは、日田市豆田町、杵築市北台南台の 2 地区が選定されている。

○糖尿病性腎症 [P30]

糖尿病の合併症のひとつ。重症化すると生涯にわたって人工透析が必要となる。血液透析の場合、通常 4~5 時間、週 3 日の透析が必要。

○動物由来感染症 [P52]

動物から人に感染する病気の総称。

○特 A [P81]

日本穀物検定協会が毎年行う米の食味ランキングで、5 ランクある区分の中で最も良好とされるもの。

○特殊詐欺 [P47]

面識のない不特定の者に対し、電話その他の通信手段を用いることにより、対面することなく人をだます行為を完結させるとともに、指定した預貯金口座への振り込み、その他の方法により被害者に財物を交付させるなどの詐欺等犯罪（同種恐喝・キャッシュカード等詐欺盗を含む）。

○ドクターヘリ [P34]

救急医療用の医療機器等が装備され、救急医療の専門医及び看護師等が同乗することで、現場等から医療機関に搬送されるまでの間、患者に救急医療を継続して行うことのできる専用のヘリコプター。大分大学医学部附属病院に配備。

○特定外来生物 [P40]

海外から導入されることにより、日本の生態系等に係る被害を及ぼし、又は及ぼすおそれがあるものとして政令で定める生物。

○特別支援学校 [P123]

視覚障がい者、聴覚障がい者、知的障がい者、肢体不自由者又は病弱者（身体虚弱者を含む）に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を行うとともに、障がいによる学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識・技能の習得を目的とする学校。

○土砂災害警戒区域 [P66]

急傾斜地の崩壊等が発生した場合には住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、警戒避難体制を特に整備すべき土地の区域として土砂災害防止に基づき指定した区域。また、土砂災害特別警戒区域では、一定の開発行為の制限及び居室を有する建築物の構造規制を行い、従前から存在する建築物には移転等を勧告することができる。

○土砂災害警戒情報 [P66]

降雨により土砂災害の危険が高まったときに市町村長が避難勧告等を発令する際の判断や自主避難の参考となるよう、都道府県と気象庁が共同発表している防災情報。

○豊の国千年ロマン観光圏 [P119]

県北8市町村（別府市、中津市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、国東市、姫島村、日出町）で構成され、「時空の旅」をコンセプトに地域資源を生かした観光振興を行っている観光圏。なお、観光圏とは、「観光圏の整備による観光旅客の来訪及び滞在の促進に関する法律」に基づき、国際競争力の高い魅力ある観光地域の形成を目指す地域のこと。

○豊の国ねんりんピック [P32]

「高齢者の生きがいと健康づくりの推進」、「ふれあいと活力ある長寿社会づくりの推進」を目的に、平成2年から毎年開催している高齢者のスポーツと文化の祭典。

○ドローン [P5,P42,P64,P68,P78,P85,P89,P94,P108,P114]

空中や水中、地上を遠隔操作又は自動操縦により移動する無人機のこと。

■な行

○ナッジ理論 [P30]

ナッジ (nudge) とは、「ひじで軽く突く」「そっと後押しする」という意味の英語。行動経済学や行動科学分野において、人々が強制によってではなく自発的に望ましい行動を選択するよう促す仕掛けや手法を示す用語。

○難病診療連携拠点病院 [P34]

難病全般に係る早期診断及び専門治療を行うとともに、相談窓口配置された難病診療連携コーディネーターが、重症難病患者について、入院・転院先の確保及び在宅医療の確保のための連絡調整等を行う病院。

○二次的被害 [P47]

犯罪及びこれに準ずる心身に有害な影響を及ぼす行為による直接的な被害を受けた後に、周囲の無理解や心ない言動、インターネットを通じて行われる誹謗中傷、報道機関による過剰な取材等により、犯罪被害者及びその家族又は遺族が受ける精神的な苦痛、身体の不調、私生活の平穏の侵害、経済的な損失等の被害。

○日米貿易協定 [P79]

令和2年1月1日に発効した日本と米国の2国間貿易の協定。米や林産品、水産品は交渉から除外され、その他の品目の日本側の関税はTPPの範囲内とされた。米国への牛肉輸出は、従来の日本枠200tから複数国枠65,005tへと低関税枠が拡大された。

○日本遺産 [P107,P118,P119,P142]

地域の歴史的魅力度や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定するもの。県内からは日田市が水戸市ら3市と連携した「近世日本の教育遺産群」、中津市・玖珠町の「やばけい遊覧」、豊後高田市・国東市の「鬼が仏になった里『くにさき』」の3つのストーリーが認定されている。

○日本型直接支払制度 [P78,P84]

平成27年度から農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律に基づき、農業の多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農活動に対して支援する制度のこと。「多面的機能支払」、「中山間地域等直接支払」、「環境保全型農業直接支払」で構成されている。

○日本語パートナーズ事業 [P100]

ASEAN諸国を中心とするアジアの日本語教育を行う中等教育機関等に、現地日本語教師・学習者を支援する人材“日本語パートナーズ”を派遣し、現地日本語教師の教育活動を支援するとともに、教室内外の学習者の支援や文化交流を通して、日本語と日本文化の魅力を伝えることを目的とした事業。独立行政法人国際交流基金と協力し、研修の一部を本県で実施。

○認知症カフェ [P32]

認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活を継続していくことができるよう、認知症の人やその家族が、地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う場。「オレンジカフェ」ともいう。

○認定こども園 [P20,P124]

小学校就学前の子どもに対する教育及び保育並びに保護者に対する子育て支援の総合的な提供を行う施設。3歳以上の児童は、保育の必要性の有無にかかわらず利用できる。

○ネットワーク・コミュニティ [P6,P63,P109,P114,P117]

日常生活圏の各集落が持つ生活機能・特徴を、ソフトとハードの両面においてネットワーク化することで形成される全体としてひとつの力強いコミュニティ。

○農業経営収入保険 [P82]

自然災害や農産物の価格の低下など農業者の経営努力では避けられない理由で売上が減少した場合に、その減少分の一部を補償する国の保険制度。

○農業水利施設 [P83]

農業用水の安定供給や農地の湛水被害防止などを目的とした用水路、排水路、ダム、ため池、頭首工などの施設の総称。

○農地中間管理機構 [P77]

農地を貸したい方と借りたい方の中間的受け皿となって、農地の集積・集約化を進める組織であり、本県においては公益社団法人大分県農業農村振興公社を指定している。

○農地中間管理事業 [P110,P112,P114,P116,P118,P120]

農地の集積と集約化を推進し、意欲ある担い手に農地を貸し出すことにより、生産コストの削減を図ることを目的とする事業。

○農福連携 [P37,P82]

農業分野での障がい者の活躍を通じて、農業経営の発展を図るとともに、障がい者が自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取り組み。

○ノーリフティングケア [P32]

介護する側・介護される側双方において、安全で安心な、持ち上げない・抱え上げない・引きずらないケア。

■は行

○パークアンドライド [P154]

道路の交通混雑を緩和し、公共交通の利用促進を図るため、自動車を都市郊外の駐車場に停めて、鉄道やバスに乗り換え、都市中心部や観光地などに移動する方式のこと。

○バスどこ大分 [P154]

大分県バスロケーションシステム検討委員会（大分交通株式会社、大分バス株式会社、亀の井バス株式会社）が運営するインターネット上のサイト。バス停ごとのバスの運行状況の確認や出発地と目的地から経路検索をすることができる。

○バスなび大分 [P154]

（一社）大分県バス協会が運営するインターネット上のサイト。乗降するバス停名から時刻表を検索することができる。

○発達障がい [P25,P36]

自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がい、その他これに類する脳機能の障がいであって、その症状が通常低年齢において発現するもの。

○パブリシティ [P101]

県の政策や事業の内容や説明を、新聞・雑誌・ラジオ・テレビなどで記事として国内外へ向けて発信すること。

○バリアフリー [P150,P154]

段差などの物理的な障壁（バリア）をはじめ、高齢者や障がい者などの社会参加を困難にしている社会的、制度的、心的な障壁など、すべての人にとって日常生活の中で存在するあらゆる障壁を除去すること。

○伴走型支援 [P85]

商工団体の経営指導員などが事業者と一緒に課題解決のため、継続してきめ細やかに支援を行うこと。

○東九州メディカルバレー構想 [P93]

東九州地域において血液や血管に関する医療機器産業の一層の集積と、この集積を活用した地域活性化を促進することを目的として、平成 22 年に宮崎県と共同で策定した構想。正式には「東九州地域医療産業拠点構想」。

○ひきこもり [P59,P133]

仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに、6 か月以上続けて概ね家庭にとどまっている状態。

○ピクトグラム [P54]

言語によるコミュニケーションをとることが難しい外国人等に情報提供するための「絵文字」。一例として、食物アレルギーや宗教上の理由で、特定の食品を食べることができない方に対して食材情報を伝える場合等に用いる。

○ビジュアルコンテンツ [P101]

画像や動画、ライブ動画、視覚化したデータ等により人へ伝える情報のこと。

○ピッチイベント [P86]

短い時間で自社の製品やサービスを来場者に発表・提案するイベントのこと。

○避難行動要支援者 [P70]

災害が発生し又は災害が発生するおそれがある場合に、自ら避難することが困難な者であって、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援を要するもの。

○姫島 IT アイランド構想 [P90,P109]

姫島村と県、進出 IT 企業等で連携し、姫島村に IT 企業・人材を呼び込むとともに、IT による地域課題の解決や人材育成等により、新たな雇用の場や活力の創出を目指す構想。

○ファーマーズスクール [P114,P116,P120]

新規就農者を確保・育成するため、地域の優良経営体のもとで生産技術などを習得する研修制度のこと。座学や実習のほか、ほ場の一部で模擬営農も実践できる。

○ファシリテーター [P58]

まとめ役、推進役と訳され、ワークショップ（体験的参加学習）で、議長役だけでなく学習の素材となるものを用意し、時間管理を行いながら全体を進行するなど、複合的な役割を務める人のこと。

○ファミリー・サポート・センター [P20]

地域の中で、子育てを手伝ってほしい人（依頼会員）を、子育てを手伝いたい人（援助会員）が援助する相互援助活動事業の連絡・調整を行う組織。

○ファミリーホーム [P23]

保護者が養育することが難しい児童等を養育者（里親）がその家庭に迎え入れて養育すること。養育は、養育者と補助者が行い、定員は 5 人又は 6 人。

○フィレ [P114]

魚を三枚におろした切り身の状態のこと。

○フードチェーン [P53]

食品やその材料の生産から加工・流通・販売までの一連の段階及び活動。

○福祉人材センター [P32]

福祉・介護人材の確保と資質の向上を図るため、福祉・介護関係の求人・求職の紹介斡旋、情報提供、人材確保に関する実態調査などを行う相談機関。社会福祉法に基づき、都道府県知事の指定を受けて、都道府県社会福祉協議会に設置されている。

○副生水素 [P44,P94]

工場内の製造工程において、原料や燃料の化学反応により発生する水素のことをいう。

○豚熱（CSF（Classical swine fever））[P71]

豚コレラウイルスにより起こる豚、イノシシの熱性伝染病のことで、農林水産省は令和元年11月12日に名称を「豚コレラ」から「CSF（Classical swine fever）」に変更、さらに令和2年2月に家畜伝染病予防法の改正により「豚熱」に変更した。強い感染力と高い致死率が特徴。

○部落差別解消推進法 [P57]

結婚・就職差別や差別発言、インターネット上に部落差別を助長する情報の流布が発生している現状を踏まえ、部落差別は許されないものであるという認識のもと部落差別の解消を推進し、部落差別のない社会を実現することを目的としている法律。（正式名：部落差別の解消の推進に関する法律）

○プラスチック資源循環戦略 [P41]

第四次循環型社会形成推進基本計画を踏まえ、資源・廃棄物制約、海洋プラスチックごみ問題、地球温暖化、アジア各国による廃棄物の輸入規制等の幅広い課題に対応するため、3R+Renewable（再生可能資源への代替）を基本原則としたプラスチックの資源循環を総合的に推進するための国の戦略。

○プラチナナース [P34]

熟練した看護技術と対人スキルを持つ定年退職前後の経験豊かな看護職。

○ブルーツーリズム [P80,P96,P108]

漁村に滞在し、漁業体験や生活体験など地域との交流を深めながら、魅力的で充実したマリナライフの体験を通じて、心と体をリフレッシュさせる余暇活動の総称であり、グリーンツーリズムの中の漁村版を表現した言葉。

○ふるさとワーキングホリデー [P64,P74]

都市に暮らす若い人たちが、一定の期間、農山漁村等の地域に滞在し、働いて収入を得ながら地域の人たちとの交流や学びの場などを通して、通常の旅行では味わえない、地方をまるごと体感してもらい、地域とのかかわりを深めてもらう取り組み。

○フレイル [P30]

健康な状態と日常生活でサポートが必要な介護状態の中間に位置し、加齢によって心身が弱っている状態。一方で適切な介入・支援により、生活機能の維持向上の可能性がある。

○プレカット [P78]

建築用の製材品等を現場施工前に工場などで事前に加工すること。

○文化財愛護団体 [P142]

身近な文化財を大切に、郷土を愛する心を醸成することを目的として、各地に結成されている団体。小・中学生を中心とした文化財愛護少年団などがある。

○文化財の保存・活用に関する市町村の地域計画 [P142]

平成30年6月の文化財保護法の改正（平成31年4月施行）によって新たに各市町村が策定することが可能となったもので、市町村における文化財の保存・活用に関する基本的なアクション・プランとなるもの。文化庁長官から認定された場合は、国の登録文化財候補を市町村から提案できるなど、未指定文化財の継承推進が期待できる。

○文化財の保存・活用に関する総合的な施策の大綱 [P142]

平成30年6月の文化財保護法の改正（平成31年4月施行）によって新たに各都道府県が策定することが可能となったもので、文化財の保存・活用の基本的な方向性を明確化し、文化財に関する保存・活用・継承や防災対策、市町村への支援など各種の取り組みを進めていく上で共通の基盤となるもの。

○文化的景観 [P119,P142]

平成16年5月の文化財保護法の改正によって新たに文化財の1つとして定義されたもの。地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地で我が国民の生活又は生業の理解のため欠くことのできないものとされ、このうち特に重要な「重要文化的景観」として、県内からは、小鹿田焼の里、田染荘小崎の農村景観、別府の湯けむり・温泉地景観の3件が選定されている。

○ヘイトスピーチ [P57]

人種、宗教、性的指向、性別、思想、社会的地位などの要素に起因する憎悪を表す行為。

○ベリーツ [P110,P112,P114,P116,P118,P120]

大分県が8年の歳月をかけ育成した県オリジナルのいちご品種。正式名称は「大分6号」で、「スイーツみたいなストロベリー」から「ベリーツ」の商標名で生産拡大、ブランド化に取り組んでいる。いちごらしい鮮やかな色づきやシーズンを通じた糖度の高さ、大きな果実などが特徴。

○ヘルスツーリズム [P116]

温泉療法や森林療法など、医学的な根拠に基づく健康回復や維持・増進と観光とを結びつけようとするもの。

○ヘルパー制度 [P114,P118]

給餌等の作業要員（ヘルパー）を組合等で確保し、畜産農家が定休日を取得する際や冠婚葬祭時等に農場作業を代行する制度。

○保育コーディネーター [P25]

特別な配慮が必要な児童や家庭に応じた専門的な支援を行うとともに、関係機関と連携して、適切な時期に適切な支援につなげることができる専門的保育者。

○保育（作業） [P117]

植栽してから主伐の間、健全な森林の造成を主目的に行う下刈りや間伐などの施業の総称。

○防災モニター [P68]

おおいた防災アプリの投稿機能を使って、身の回りの気象・災害の状況や避難所の状況等を画像・動画・音声・コメントにより投稿する人。

○放射線防護措置 [P68]

被ばく線量を低減する措置。放射線にさらされている時間を短縮する、放射線を遮へいする、放射線源からの距離を確保するなどの方法がある。

○訪問型子育て支援（ホームスタートなど） [P20]

研修を受けた子育て経験のあるボランティアが、妊婦や未就学児（6歳以下）がいる家庭を訪問し、ゆっくり話を聴いて、不安や悩みをしっかりと受け止め（傾聴）、一緒に家事や育児を行う（協働）等の活動を行う取り組み。

○ポートセールス [P150]

港の管理者が関連企業などに自らの所有する港のメリットを説明し、船舶や貨物を誘致するとともに、利用者のニーズも把握して施設整備や運営の改善につなげていくこと。

■ま行

○マーケットイン [P79]

市場や購買者などの立場に立って、市場などが必要としている商品を生産・販売しようとする考え方。

○まず野菜、もっと野菜プロジェクト [P30]

生活習慣病予防のため、野菜摂取量1日350gを目指し、若い世代の健康無関心層が野菜を食べなくなる仕掛けや、生産・販売・流通などの関係団体との連携による野菜摂取促進に向けた取り組み。

○学びに向かう力 [P123,P126]

児童生徒に育成を目指す資質・能力の一つで、主体的に学習に取り組む態度（粘り強さ、学習の進め方を調整すること等）も含め、新たな学びに向かったり、学びを人生や社会に生かそうとしたりする力のこと。

○マネジメントサイクル (PDCA サイクル) [P124]

効果的な管理や確実な改善に向けて行う、計画立案 (Plan) → 実践 (Do) → 検証 (Check) → 改善 (Action) の段階的な活動の循環のこと。

○ムラサキ [P116]

ムラサキ科の多年草。その根部は赤紫色の色素を含み「紫根 (シコン)」と呼ばれ染料や薬用として用いられる。

○メディアアート [P120]

建物や空間にコンピュータで作成した映像を映す「プロジェクションマッピング」など、デジタル技術を活用した芸術作品。

○モーダルシフト [P79,P149]

トラック等の自動車で行われている貨物輸送を環境負荷の小さい鉄道や船舶の利用へと転換すること。

○目標達成マネジメント [P129]

学校の目標や取り組みを重点化・焦点化し、その達成に向けて学校全体で短期の検証・改善を繰り返すこと。

○モニタリングシステム [P78]

ハウス等の温度や湿度といった栽培環境データをセンサーから直接クラウドに送信し、一元的に情報を管理するシステムのこと。栽培環境データの確認や過去に蓄積したデータの分析を遠隔地で行えるなど、栽培技術の改善に活用されている。

○藻場 [P40]

海藻又は海草が密生し、それらがある程度の広がりをもっている海域。水生動物の産卵場、生育場、餌場、あるいはチッソやリンを吸収する環境浄化など、海の中で重要な役割を果たしている。

○問題解決的な展開の授業 [P124]

児童生徒が自ら課題を発見し、その解決に向けて主体的・協働的に学習し、学びの成果等を表現する展開の授業。多くの場合は、1時間あるいは数時間のまとまりのある授業の中で、「課題設定→情報収集→情報の整理・分析→まとめ・表現・交流→振り返り・評価」という流れで展開される。

■や行

○薬剤耐性 (AMR:Antimicrobial Resistance) [P71]

細菌感染症に対して抗菌薬（抗生物質）が効かなくなること。手術後など抵抗力が落ちた患者の体内で、薬剤耐性をもった菌が増加することにより、治療が難しくなり重症化する可能性がある。

○やさしい日本語 [P136]

簡易な表現を用いたり、文の構造を簡単にするなどして、日本語に不慣れな外国人にも分かりやすいよう考案された日本語。

○有機 JAS [P112]

有機食品の JAS 規格に適合した生産が行われていることを登録機関が検査し、その結果認定された事業者のみが有機 JAS マークを表示することができ、「有機」「オーガニック」等の名称を使うことができる。

○有機栽培 (有機農業) [P54,P80,P111]

化学的に合成された肥料及び農薬を使用しないこと並びに遺伝子組み換え技術を利用しないことを基本として、農業生産に由来する環境への負荷を極力低減した方法を用いて行われる農業のこと。

○ユニバーサルデザイン [P50,P59,P154]

「すべての人のためのデザイン」を意味し、年齢や性別、身体的能力、国籍や文化など人々の様々な特性や違いを超えて、すべての人が利用しやすく、すべての人に配慮したまちづくりやものづくり、仕組みづくりを行うという考え方。

○ユネスコエコパーク [P39,P98,P100,P101,P107,P114,P115]

ユネスコ（国連教育科学文化機関）が、生態系の保全と持続可能な利活用の調和を目的に、自然と人間社会の共生の世界的なモデルとなる地域を登録する制度。正式名称は「Biosphere Reserves (生物圏保存地域)」といい、「ユネスコエコパーク」は制度に親しみを持ってもらうためにつけられた日本国内のみでの呼称。2019年6月現在、124か国701地域、うち国内では10地域が登録されている。

○幼児教育センター [P20]

平成31年4月に開設された大分県教育委員会内の組織。幼稚園教諭・保育士・保育教諭等に対する研修機会の提供、幼児教育アドバイザーによる市町村や幼児教育施設に対する助言等の支援、幼児教育・保育の内容等に関する情報提供等を行う。

○養殖ブリ類 [P114]

ブリ、カンパチ、ヒラマサの養殖のこと。

○要保護児童対策地域協議会 [P23]

保護者のない児童又は保護者に監護させることが不相当であると認められる児童等の保護や支援を適切に行うため、児童の福祉に従事する地域の関係機関や関係団体、福祉に関連する職務に従事する者等によって構成されるネットワーク会議。県及び各市町村に設置されている。

○予防強化集落 [P84]

農林産物被害額が大きいと、市町村と集落が連携しながら防護柵を集中的かつ計画的に設置するとともに、集落環境対策と捕獲対策の取り組みを進める「大分県鳥獣被害現地対策本部」が指定する集落のこと。

○予防的家庭訪問実習 [P131]

学生たちが大学4年間を通して継続的に家庭訪問を行い、高齢者の健康状態や生活実態などを把握し、地域の高齢者ができるだけ自立して自宅で暮らすことができるよう機能低下予防を行うことにより、地域の再生・活性化に寄与することを目的とした実習。

■ら行

○ラウンドアバウト [P154]

車両の通行する部分が環状の交差点の形式であって、信号がなく道路標識により車両がその部分を時計回りに通行することが指定されているもの。交差点での重大事故の削減、災害等停電時の機能維持などの効果が期待される。

○リサイクル認定製品 [P42]

廃棄物の有効活用及びリサイクル産業の育成を推進することにより、環境負荷の少ない循環型社会を形成するため、廃棄物の減量及び資源の有効利用に役立てる製品として県が認定したもの。

○リスクコミュニケーション [P54]

リスクに関する正確な情報を行政、専門家、企業、市民などの関係者間で共有し、相互に意思疎通を図ること。それにより、リスクに関係する人々の間で信頼が構築され、リスクの回避や除去あるいは低減につながる。

○リダンダンシー [P151]

冗長性、余剰を意味する英語であり、代替手段のこと。自然災害等による障害発生時に、一部の区間の途絶が全体の機能不全につながるないように、予め交通ネットワークを多重化したり、予備の手段が用意されている状況のこと。

○リノベーション [P89]

古い機能を今の時代に適したあり方に変えて、新しい機能(価値)を付与すること。

○留学フェア、留学ガイド [P125]

留学に関する事業説明や留学経験者による体験報告、留学斡旋団体による個別説明の機会を設けるもの。また、そうした内容を示したガイドブックのこと。

○流線型仕立 [P118]

本県が開発したなしの新しい栽培方法。通常、なしは3方向に枝を伸ばす(3本主枝仕立て)が、本方法は1方向に伸ばす。大苗を用いることで、植付から果実をつけるまでの年数を約10年から約4年に短縮できる。

○林業アカデミー [P81]

平成28年度から森林ネットおおいたが運営している林業の就業前研修制度。約1年間、林業に必要な様々な技術習得研修や職場体験研修等を行い就業後に即戦力となる人材の育成を図っている。

○林地化 [P84]

荒廃している山間部の農地等において、植林などの作業により木竹が集団で生立している土地に誘導すること。

○隣保館 [P58]

社会福祉法(第2種社会福祉施設)に基づく隣保事業を実施する施設。地域社会全体の中で、福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談事業や人権課題解決のための各種事業などを総合的に行っている。

○レジオネラ症 [P51]

レジオネラ属菌が原因で起こる感染症(四類感染症)。菌は土壌や水環境中に生息し、循環式浴槽、シャワーなどからのエアロゾル(ミスト等)により飛沫感染する。重症型がレジオネラ肺炎、軽症型がポンティアック熱といわれる。

○レスパイトケア [P24]

児童を養育している里親の休息(リフレッシュ)のため、児童養護施設や他の里親が一時的に当該児童の養育を行う制度。

○六郷満山 [P98,P101,P110,P120]

国東半島では古くから来縄、田染、国東、武蔵、安岐、伊美の六つの郷が開けており、多くの天台宗寺院が成立していた。これらの寺院群は、学問をするための本山、修行を行うための中山、布教をするための末山に分けられ、合わせて満山と呼ばれていた。このことから国東半島の天台宗寺院を六郷満山と総称するようになり、ここに華ひらいた独特の仏教文化を六郷満山文化と呼ぶ。

○路網 [P78,P110,P114,P116,P118]

森林内にある公道、林道、作業道の総称。又は、それらを適切に組み合わせたもの。

○ロングトレイル [P120]

登山道や遊歩道などをつなぎ合わせた長距離の自然歩道のこと。歩きながら地域の自然や文化を楽しむことができる。トレイル(Trail)には「踏みならされてきた道」や「小道」の意味がある。

■わ行

○ワークシェアリング [P105]

雇用機会、労働時間、賃金という3つの要素の組み合わせを変化させることを通じて、一定の雇用量を、より多くの労働者の中で分かち合うこと。